

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年8月10日(火) 午後7時～9時

2 場 所：袋井東コミュニティーセンター

3 出席者：32人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

開始にあたり市から、「自治会連合会からの申し入れを受け、地域の方の発言を優先。複数の会場に参加しての発言は受けない」ことを説明。

Q：複数会場を回り意見を言っただけというのは、意見の封殺ではないか？

A：市の自治会連合会の申し入れですので、そうさせていただきます。

Q：自治会連合会が言ってくれば、何でも通るのか？

A：そうではありません。例えば、山名地区でも、3回目の質問の時に、「後は個別にやってくれ」との声も上がりました。その方には「後日、役所でお話しさせていただきます」と申し上げました。地元の方優先で、多くの方の意見を伺いたいため、そうした対応とさせていただきます。

Q：中遠クリーンセンターは、出来てからそんなに経っていない。処理量が限界に近いというのは、見込みが甘かったのではないか？

A：中遠クリーンセンターは、稼働から13年が経とうとしています。処理量の見込みは、国の基準に従って行っておりますので、国の想定するごみの増加量よりも多かったため、処理限界量に迫っているということです。

Q：選挙が終わって4か月経っていない。市長選挙で、ごみの値上げのことを一言も言っていない。市議会議員選挙でも、一切出していない。

A：ごみの有料化については、大場新市長になって決まったことではなく、原田市長の時に決まったことです。コロナ禍もあり、1年先延ばしをしたところ、その間に市長が変わったということです。

Q：生活保護を受けている人などの救済は考えているのか？そうした人たちが、月520円、年間6,240円負担するのは大変だ。

A：そうした救済は行いたいと考えています。ただし、どこまで行っていくかは検討中です。お隣の掛川市も、当初行っていましたが、今はやめてしまいました。生活保護費を支払う、ごみ袋も提供するでは、二重に給付することになってしまいますので、取りやめたものです。そうしたこともありますので、そこは検討していきます。

それから、金額については、平均で示しているものであり、我が家は、生ごみはコン

ポスト、雑紙や容器包装プラスチックの分別を徹底しており、使用するごみ袋は週1枚であり、その場合の負担は月130円、年間1,560円となります。ぜひ皆さんも、負担が少なくなるように、ご協力をお願いします。

Q：20枚入りで780円の金額で市が押し切るならば、市議員1人1人の賛成反対の理由を一言ずつ、広報袋井に掲載してもらいたい。

A：ご意見は伝えますが、私が決められることではありませんので、約束はできかねます。

Q：1袋30円に対し、賛成が21%。しかし、高いと言っているのが41%、とんでもないと
言っているのが18%で、合わせて約6割の人が反対している。

A：30円という金額は、決定ではありません。今回の説明会は、そのための説明会であり、そうした皆さんのご意見を伺う中で、金額についても検討します。

Q：近隣は有料化していても、20円程度である。

A：確かにそのとおりで、1枚39円は、県内で最も高いです。他市の有料化は、ごみ処理経費が高いので、有料化したいというのが一般的です。そのため、多くをごみ処理に使用しており、その収入で新たなごみ減量化策を行うといった事例はほとんどありません。今回、本市が目指しているのは、その収入により、新たな減量化策、温室効果ガスの削減策を行っていききたいというものですので、ご理解をお願いします。

Q：有料化した結果、中遠クリーンセンターがどのくらい延命化できるのかということが分からない。有料化したけど、すぐ増設では納得いかない。処理費もどのくらい減額されるか？

A：有料化したのに、増設しなければならないでは問題ですので、そうならないように、有料化で得られた収入により、様々なごみ減量化策を行っていきます。処理費については、減額となりますけど、中遠クリーンセンターの建設費や修繕費が膨大であり、また人件費などの固定費もありますので、ごみが半分になったから処理費も半分になるということにならないことは、ご理解をお願いします。これら2つについては、今詳しい数字でお答えできませんので、後日、回答させていただきます。

Q：固定費で、人件費の話が出たけど、委託は競争入札で行っているのか？

A：ごみ処理施設については、それぞれ特殊な方式で処理を行っており、製造業者しか運転ができないため、随意契約が一般的です。中遠クリーンセンターでも、同じ処理方式の2社で競争入札をしようとしたところ、製造業者でない1社が辞退をしました。そのため、長期に包括で委託することにより、経費の節減を図っています。

Q：我が家のごみ処理機は古いけど、買い替えの場合も補助を受けられないか？

A：今までは、1人1回しか受けられない補助でしたけど、言われるとおり古くなるもの
ですので、そうした場合は、再度受けていただけるよう、検討します。

Q：ちまたでは、30円が独り歩きしているがどうか？

A：先ほどもお話ししたとおり、30円は決定ではありません。しかし、市として説明会を
する上で、「金額は決めていません」、「根拠もありません」では、説明できませんので、
「金額は30円で」、「根拠はこうです」と説明させていただいています。

Q：今、金額を下げる考えはないのか？

A：全ての説明会が終わり意見が出そろった時点で、総合的に判断していきます。今回の

14か所の説明会では、30円案で一貫して説明していきます。

Q：事業ごみは、地域のごみ収集場に出していいのか？

A：事業ごみは、地域のごみ収集場に出してはいけません。事業ごみのうち、産業廃棄物でないごみは、中遠クリーンセンターで処理できます。例えば、事業所の事務所から出る紙ごみ、レストランやスーパーの生ごみが該当します。これらは、排出事業者の責任で処理が行われます。一般的には、一般廃棄物の許可運搬業者に委託し中遠クリーンセンターまで運び、ごみ処理手数料を支払い、処理をするといった形となります。

Q：事業ごみの有料化はどうなるのか？

A：事業系の指定袋は、10当たり0.4円の処理手数料の上乗せを考えています。皆さんには10当たり1円なので、事業系の方が安いと思われるかも知れませんが、実は事業系につきましては、中遠クリーンセンターのごみ処理手数料と合わせ、実費の1t当たり2万円となるよう、設定したいと考えています。皆さんには、3001袋60円のごみ処理費が掛かりますので、その半分の30円。事業者には実費を丸々負担していただく考えです。

Q：古紙の回収ボックスは、市内にどのくらいあるのか？

A：全て合わせて、20か所弱程度です。東地区では、リサイクルクリーン、アンドー物流、山美商店、周辺ではスーパーで愛野のラック、方丈のママがあります。古紙の駅の雑紙回収は、フィルム付きの封筒やアイスクリームのカップなどの防水加工紙、酒パックなどのアルミ加工した紙など、回収ボックスに入れてはいけないものが多くあります。市が考えているものは、そうしたものも回収可能で、自治会の皆さんのご協力をいただき、身近な、月2回の自治会の集団回収で集めたいというものです。

Q：年寄りにとっては、分別が難しい。分別指導を行う、自治会役員の負担も大きい。

A：雑紙の分別については、使用済みの紙おむつやティッシュ、キッチンペーパーと、汚れた紙以外は全て良いので、分別は分かりやすいと思います。また、プラスチックやその外のものについては、分かりやすいビデオを作成し自治会にお配りしたいと考えます。

Q：数年前に、PETボトルも、燃やしていいという話が出回った。まず分別の徹底を呼び掛けて、減らないなら値上げ考えるべき。努力が足りない。

A：容器包装プラスチック以外のプラスチック、容器包装プラスチックでも汚れが取れないものについては、最終的に焼却していたので、可燃ごみの袋に入れても良いとしたところ、プラスチックは何でも燃やしてよく、PETボトルもいいという解釈が広まってしまいました。市もそうではないことを再三PRしていますが、なかなか元に戻りません。努力が足りないとの話は、どこでもいただきます。しかし市も、分別の啓発や、水切り大作戦といったごみ減量化策に力を入れてきましたけど、大きな成果には結びついていません。理由としては、お金もないのでお金もかけず、皆さんにお願いするだけで、行ってきたからです。今回は、有料化で得られた収入で、分別や減量化に取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

分別については、今回の説明会の結果を10月に班内回覧で回りたいと考えていますので、それに合わせ、分かりやすい分別の方法を載せたものを回させていただきます。それから、各自治会の環境美化推進委員の研修が、ここ2年ほどコロナの影響でできていませんけど、来年は、市内の北、南、中央と会場を分け、1か所での参加人数を減らすなどした上で、ぜひとも実施し、分別の方法等について、研修を行いたいと考えています。

Q：平成28年度から中遠クリーンセンターの炉が良くなって、プラスチックの分別を見直したらごみが増えた。そもそも見込みが甘かったのではないか？

A：宇刈の最終処分場の時には、容器包装プラスチック以外のプラスチックは、埋立処分をしていました。平成20年に中遠クリーンセンターができ、24時間連続運転になり、ダイオキシンも問題ないということで、焼却処理を行うようになりました。容器包装プラスチック以外のプラスチックは、月2回の資源回収の時に分別回収し、また容器包装プラスチックでも汚れがひどいものは、回収業者が分別を行い、中遠クリーンセンターで焼却処理をしていました。そうした中、月2回と回収回数が少なく、家庭で保管するのは大変というご意見も多くあったものですから、平成28年から、「容器包装プラスチック以外のプラスチック、容器包装プラスチックでも汚れがひどいものは、緑の袋に入れても良いとしましょう」と、利便性を図る意味で分別を見直したところ、プラスチックは何でも燃やしていいという解釈が広まってしまいました。あわててそうでないことを啓発してきましたが、払拭するまでには至っていない状況です。

Q：来年4月に値上げというが、3月までの間にも、分別の徹底をすればどうか？

A：できるだけ早く、分別を分かりやすく解説した動画等を作成し、自治会にお示しすると共に、同様の内容を紙で作成し、班内回覧等で市民の皆さんへも示していきます。

Q：資料のごみの中に、草木が含まれていない。かなりの量があると思うがどうか？

A：昨年、中遠クリーンセンターに持ち込まれている草木だけのごみは、八ヶ代造園に運び、リサイクルを行っています。ただし、家庭から緑の袋に入れ出されている草木については、分別ができないため、燃やしてしまっています。そのため、地域に回収コンテナを置かせていただければ、分別回収が可能と考え、計画しています。

Q：市職員もごみの集積場に足を運び、どんなものが含まれているか見てもらいたい。びん、缶が入っていれば回収しないが、ペットボトルが入っているものは、回収されている。袋には、ペットボトルは駄目とバツテンがくれているが、どうしてか？

A：びん、缶は固く、音などもするため、混入の判断がしやすいが、ペットボトルは分かりにくいいため、回収されているものと考えます。本来ならば、びん、缶と同様の扱いとなります。

※ペットボトルのうち、汚れている物は、可燃ごみ扱いとなるため、緑の袋に入れられているペットボトルは汚れている物と判断し、回収を行っています。ただし、それでは分別の徹底が図れませんので、分別を分かりやすく解説した動画等で啓発を行っています。(当日は回答をしていません)

Q：「値上げにより、県下で一番袋の値段が上がるが、CO2削減のために最も貢献している市になる」。それがごみ減量推進課として、最大の命題になるのか？

A：今皆さんが、生活の中で抱えている大きな問題が2つあると思います。1つがコロナで、もう1つが地球温暖化です。コロナは所管課ではありませんので所管に任せ、地球温暖化は当課が所管ですので、そこに取り組む考えです。

Q：袋井市だけの問題ではない。全国でも、県下でも、1番になる必要はあるのですか？

A：ごみはるかに少ない所がありますので、1番には成れないです。ただし、袋井市は決して少ない方ではありませんので、1番になるのは難しいですが、1番になるのを目指しつつも、取り組んでいきたいと考えます。

Q：今回の説明で、説明責任を果たしたと考えるのか？

A：今回、市内全地域でということで、14か所のコミュニティセンターで説明会を行っています。また、14か所以外でも、「何人かの集まりがあるので」という話があれば、説明に伺っています。東地区でも特に女性の方の集まりに伺えればありがたいです。

Q：有料化は、前市長の時に決めたという話があったが、今の市長も有料化は妥当だと考えているのか？

A：市長に当選後、5月の下旬に連合会長会議で、市民説明会を行う旨の説明をする機会があり、その前に市長に説明しました。当然、市長が反対ならばできなかったのですが、「まずは説明会を行い、市民の皆さんの意見を聞いてください」ということでしたので、今日の説明会を行っているところです。

Q：森町との違いは？

A：森町は、平成19年から有料化をしています。市の提案はプラス30円ですが、森町は10円の上乗せを行っています。今、森町の袋は、袋井市の袋より値段が高い状況です。

Q：森の住民は、森の袋で森の集積場に出すのか？

A：森町の袋を袋井市の集積場に出すことはできません。袋井市が委託した業者が、袋井市の集積場で集めたごみを、中遠クリーンセンターで処理します。その重量で、袋井市、森町のそれぞれに分担金を請求していますので、そこはしっかりと分けています。

Q：森の人が袋井の袋で、袋井に捨てても分からないのではないのか？

A：地域の集積場ですので、知らない人が何度も捨てればおかしいということになってしまいますので、基本的にはないと考えています。

Q：道路沿いの集積場は、結構通りすがりに捨てられる。後、コンビニで捨てる人も出るのでは？

A：道路沿いの集積場で不都合がある場合は、収集車が入れる場所で、使用している人たちの総意であれば変更可能ですので、相談していただければと思います。コンビニについては、事業者への説明会で、コンビニからそうした意見をいただいていますので、コンビニの店主の皆さんと一緒に、対策を考えていきます。

Q：そういったことが起こる可能性もあるので、中遠全域で値段を統一すべきではないか？

A：それぞれの市町の考え方もあるので、統一は難しいと考えます。ただし、中遠全域の行政の会議と言ったものもありますので、話として出すことは検討させていただきます。

Q：掛川市は、コンテナを置き、草木を回収するシステムができています。

A：職員で掛川市在住の者がおり、そうしたこともできるのではと考え、動画で紹介しています。今考えているのは、祭り前とか、多くの皆さんが、植囲いや庭木の手入れを行う時期に、希望により公会堂などにコンテナを設置する案です。また、可能ならば、市内の南、北、中央辺りで、適当な場所があれば、コンテナを年中置きっ放しにすることも考えていきたいと思っています。

Q：有料化により、地球温暖化防止にどのくらい効果があったのか、知らせて欲しい。

A：広く市民の皆さんにお知らせしていきます。

Q：先ほども出たが、共同で行っているのだから、森町と合わせていけばどうか？

A：袋井市からこうして欲しいとはいえないですけど、森町の担当者とは、常に情報交換をしていますので、お伝えはしていきます。

Q：環境問題について、学校教育に力を入れてもらいたい。

A：説明動画の子ども向けのものであり、小学4年生から中学3年生まで、学校を通じて見てもらっています。また、動画を見たアンケートを、小学6年生以上に答えてもらっており、現在、3,600人中1,400人の回答をもらっています。また、取りまとめましたら、公開していきたいと考えますので、よろしくをお願いします。